

大野城市民読書活動推進計画 施策進捗状況シート

P 計画の基本事項

基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進		
施策	(1) 乳幼児		
施策の方向性	親子で読書を楽しむことで、語彙力や想像力、集中力を養うとともに親子のコミュニケーションを深めます。そのために家庭での読書や読み聞かせの大切さについて保護者へ啓発を行い、親子での読書活動の推進を図ります。また、図書館及び地域貸出文庫等で、絵本の読み聞かせや貸出を行います。共働き世帯が増加し、保護者と一緒に読書することが難しい乳幼児に対しても、保育所(園)・幼稚園等において読み聞かせを実施し、全ての子どもが本に出会う機会を提供します。		
主な取組	①絵本の紹介と保護者への啓発		
	②読み聞かせの推進		
	③絵本の貸出の実施		
成果指標	家庭での読み聞かせ実施率	策定時点	目標値(R9)
		86.7%	90.0%

D 令和4年度(具体的な事業実施状況調査より)

評価指標	重点事業	指標	実績(R4)	目標値(R5)
	「Babyぱらら」「こぱらら」の発行	年間発行回数	12回	12回
	ブックスタート事業	年間実施回数	132回	132回
	図書館での対象年齢に応じたおはなし会	年間実施回数	106回	80回

主な取組の実施状況及び今後の方針 ◎期待以上 ○期待どおり △もう少し	①絵本の紹介と保護者への啓発	達成状況
	◆図書館ではおはなし会やイベント情報、おすすめ本の紹介等を掲載した情報誌を発行しており、令和4年度からは幼児～小学生を対象とした「こぱらら」に加え、新たに赤ちゃんとその保護者を対象とした「Babyぱらら」の発行を年6回(1,000部/回)始めた。また読書週間には、館内に長く読み継がれている絵本の特集コーナーを設置するなど絵本の楽しさをPRした。来館されない方への働きかけが課題であるため、情報誌やチラシの配布等、館外に向けたPRも進めていく。 ◆市の母子保健事業(マタニティクラス、すくすく子育て教室、すこやか育児相談、3歳児集団健診等)や子育て支援事業(ブックスタート、絵本ライブラリー等)で、図書館が作成した赤ちゃん・乳幼児向けブックリストを配布した。妊娠期から絵本に関心がある人は少なく、親子でも絵本の関心度には個人差があるため、今後も絵本への関心が高まるよう、ブックリストの配布等の啓発を継続していく。	○
	②読み聞かせの推進	達成状況
	◆ブックスタート事業を132回実施し親子743組が参加したが、忙しくて参加できない家庭が多い(参加率70%)ため、参加者の増加に向け、他の子育て支援事業でもPRしていく。 ◆図書館ではコロナ対策(会場変更・不定期・時短・少人数等)を講じて、赤ちゃん向け(参加者703人)や幼児～小学生向け(参加者641名)のおはなし会を実施したが、不定期では参加者が定着しなかった。今後はコロナ前の実施方法に戻し、参加しやすく本を身近に感じてもらえるよう、工夫したい。 ◆地域貸出文庫では、読み聞かせをする館が16→20館/28館へ増えた。 ◆市の子育て支援事業(絵本ライブラリー、ぞうさんひろば、親子サロン等)では、読み聞かせ等を実施している。特に、令和4年度から絵本ライブラリーを親子サロンで開催したところ参加者が大幅に増加した(延べ1,166人)。コロナの影響により参加者が減っている事業があるため、増加に向けた取組が必要。 ◆子ども療育センターでは療育事業で毎回保育士が読み聞かせを行い、絵本への関心を広げる機会となった(延べ参加児童数1,599人)。 ◆全ての保育所(園)及び幼稚園で計画的に読み聞かせを行っている。	○

	<p>③絵本の貸出の実施</p> <p>◆図書館では、乳幼児連れの保護者等多様な利用者が気兼ねなく図書館を利用できるように、他の利用者に温かく見守るよう呼びかけるキッズタイム事業を検討中である。</p> <p>◆市の子育て支援事業（絵本ライブラリー、ぞうさんひろば、親子サロン等）で絵本の貸出を行った。コロナの影響により参加者が減っている事業があるため、増加に向けた取組が必要。</p> <p>◆コロナの影響等により、多くの保育所（園）や幼稚園が絵本の貸出を控えており、代替取組として絵本の紹介が行われている。</p>	<p>達成状況</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<b>C 評価</b>		
<p>推進委員会 評価</p>	<p>問題なく実施されている。取組によって課題は見受けられるものの、各主体で今後の方針も考えられている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。</p>	
<p>検討が 必要な事項</p>	<p>なし</p>	
<b>A 改善</b>		
<p>改善に向け た取組等</p>	<p></p>	